

別紙5・市外旅行者ヒアリング調査調査結果から出てきた地域資源

地区	観光拠点	状況・実績	ニーズ	ポテンシャル(潜在資源など)
門前町エリア 本町、宮町、西町	志波彦神社・鹽竈神社	藻塩焼神事、港まつり、時期限定でツアー企画しづらい 毎年、鹽竈神社と松島巡りツアーがある	行ったことあっても知らないこと沢山、宮司さんの話で感激もある 夜の幻想的イベントなどあるとツアー候補になる ツアー客呼ぶには神社下や付近の駐車場整備が前提	
	御釜神社(本町)			
	※未社			仏像ツアーは他県でも人気。御朱印、スタンプラリーなど組合せできる 常連がいて毎年続いている「仏像」巡るツアー(仙台リビング新聞)
	塩竈市杉村惇美術館			
	歴史的な建物	門前町の歴史的建物が外に伝わっていない		
	酒蔵(酒造会社)			醸造文化が根付いている特色「聖地巡盃」を打ち出す
	【全体】		門前町の街歩き、食べ歩きの中味も殆ど知られてないので、教えてほしい	まち歩き+アルファ何か組み込み滞留長くする 体験さりげなく仕込みツアー少し膨らみますが効果的
塩釜港エリア 港町、北浜	マリンゲート塩釜	松島・塩竈「ごっつおミステリーツアー」が好評。塩竈の直江かもぼこ工場と松島の海鮮バイキング。	海産物が豊富で気軽に食べられる施設(駅近くなど)	松島湾クルーズの拠点
	水産物の加工場		藻塩工場など見学でき、藻塩ゆで卵など食べる所	
水産市場エリア 新浜町	塩釜水産物仲卸市場	水産物仲卸市場は時間が限られ自由に楽しめない	他にない塩竈の市場だけの海鮮メニュー	
【塩竈市共通】 ※浦戸除く		浦戸諸島や仲卸市場、鹽竈神社を含め単独ツアーなし 団体宿泊の旅館、ホテルないがネック 「早出早帰りツアー」が受けている 他市(山形、福島など)は食も工夫で売ろう来てもらうの気持ち強い商売上手。	バス、車が寄れる「道の駅」のような施設があると拠点になる 能登半島(珠洲市)「揚げ浜塩田」(道の駅)のような場所 ※NHK連続テレビ小説「まれ」舞台	「仏像」と「美術館」巡るツアーは結構人が集まる(仙台リビング新聞)
		郷土色の他、名物の人(おばあちゃんなど)いるとツアー組みやすい 足不便なので、100円バス、循環バスなど移動手段も充実してほしい		
		杉村惇美術館、菅野美術館は団体客は行きづらいし、駐車場も少ないので観光態勢がない 塩竈(松島も)旧態依然の昔の観光地のまま、観光課も権利主義的な印象	できれば塩竈市など行政タイアップのツアー企画したい(仙台リビング新聞)	
			観光の案内情報にはストーリーが欠かせない	塩竈は港町、港町文化が残る町
			塩竈に来る「何か特別な理由」を提供する	鹽竈神社がある信心的な立ち位置は他にない
		県内向け商品「松島含むツアー」検討中(塩竈除く)		韓国版「オルレ」東松島コースに塩竈「食」組み合わせも可能
			他(山形)では市、町が協力的、且つ積極的。いろいろな人と場所を教えてくれ結果つながっていく。	
		県沿岸部の被災エリアは復旧進んでいる地域、そうでない地域あるが、復興の様子を見たい人もいる	行政は人を集める場づくりと市民、民間を後押し策(規制緩和など)	
浦戸諸島	桂島	黒潮流で海冷たいので海水浴に厳しい		
	野々島		昼食のお店がないので美味しいお弁当食べたい(前回少し物足りず)	
	寒風沢	ツアー参加者は松林寺の化粧地蔵など興味深々、丸文松島汽船の社長ガイドも好評。		
	朴島			
	【浦戸共通】	知らないこといっぱいある、ガイドの話聞きながら歩くのは楽しい 松島町ツアーで湾を船で回り松枯れ状態に驚いた 2016年(平成28年)、丸文松島汽船スポンサー浦戸巡りツアー(30人)が人気、社長案内も好評。 2017年(平成29年)、浦戸ツアー(9、10月)が人気。2018年(平成30年)は4、5月頃に実施予定	諸島を巡りながら、ゆったりした時間、ありのままの自然は魅力	ホッピングツアー(島の暮らし、日本の原風景など広域で楽しむ) 「教育旅行」の誘致。広域連携で宿泊施設準備も前提(市と事業者) 島ならではの自然を生かした事業の拠点になる